

令和8年度 学校経営方針

昭島市立拝島第三小学校長 松 井 茂

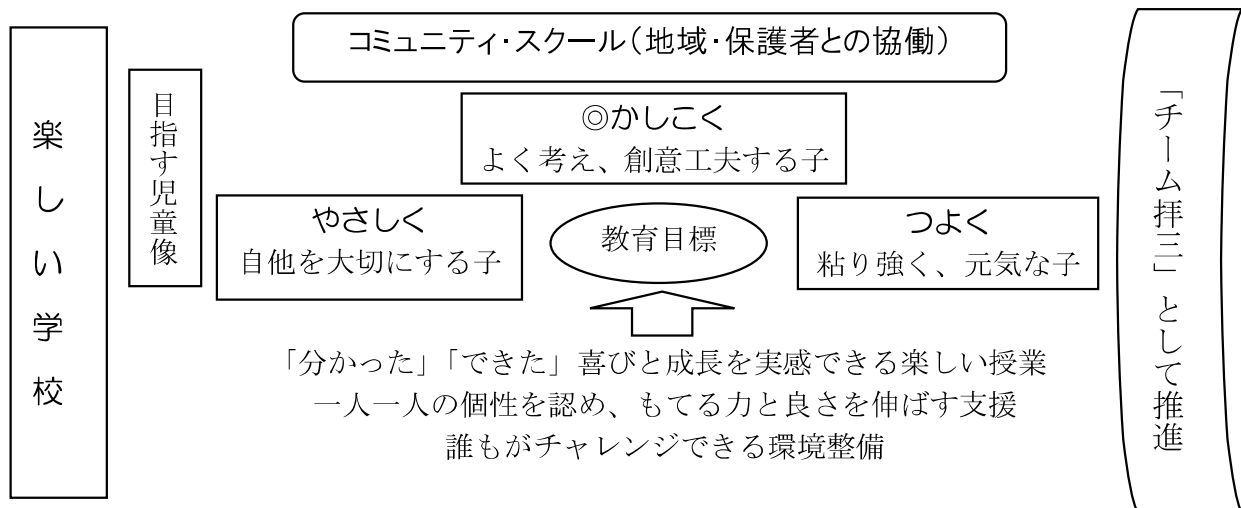
1 経営の基本方針

◇ はじめに

- ・義務教育の目的は、個々の児童の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことです。
- ・市立学校として、保護者・市民から子供の指導・育成を信託されると共に、学校の施設は、教育活動を中心とした地域コミュニティの場です。「地域の学校」として、学校・保護者・地域の三者が連携して「地域の子供」である拝三小の子供たちの教育を進めていきます。

◇ 教育目標・目指す学校

東京都及び昭島市教育委員会の教育目標、昭島市教育振興基本計画を基に、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGsの目標を関連させ、楽しい学校づくり・「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。そのために、人間尊重の精神を基調とし、生涯学習の視点に立って、知性と感性に富み、たくましく生きる人間性豊かな子供の育成の実現を図ります。



○学習指導要領に基づく教育活動の展開

- ・理念の理解とその実現のための「主体的・対話的で深い学び」を視点とする授業改善
- ・教育の質の転換「指導」から「学び」と個別最適な学びを取り入れる
- ・通知表「あゆみ」を含め、学習評価の充実「何が身に付いたか」
- ・各教科等ならではの「見方・考え方」や学習と社会をつなぐことができたり、人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができたりするための教師の専門性を発揮

○信頼される学校づくり(当たり前のことを当たり前にする)

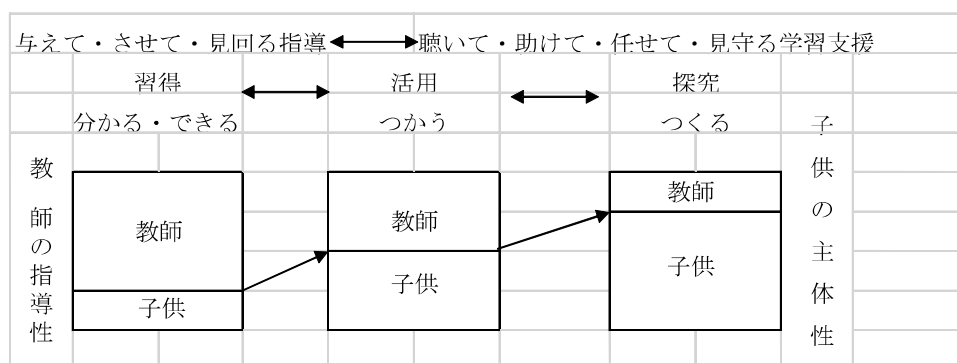
- <子供が主役> 明日も来たい、学校・友達・先生・地域が好き、自己発揮できる、自分も他人も良さが分かる、自信がもてる、相談ができる。
- <保護者・地域の願いを叶える> 安心できる、任せられる、様子が分かる、協力したい相談しやすい、地域に根差している。
- <教職員が信頼を力として高め合う> より良い学校づくりに力を発揮できる、安心・安全な学校づくりができる、子どもたちの成長が実感できる、危機管理に全員で取り組む、得意なことや持ち味・強みを生かしてチーム力が高まる、ライフワークバランスと自己研鑽を自己決定できる。

【やさしく】 自他を大切にする子

- ・多様性を認め合い、偏見や差別、いじめを許さない人権感覚の育成。
- ・「子供の声を聴く」ことを柱とする教師の姿勢。表情、態度、遊びの中にある本音や感情を受け止め、一人の人間として尊重する。(アクティブ・リスニング)
- ・「オ（おはようございます：気持ちの良い挨拶）ア（ありがとうございます：感謝の心）シ（失礼します：譲り合いの心）ス（すみません：謝る心と感謝の心）」の挨拶への意識向上。
- ・より良い人間関係を築く言語を大切にする。
(各学級の子供の実態に応じて取り組む、ふわふわ言葉、ちくちく言葉)。
- ・「拝三スタンダード（生活）」による学校生活の定着。
- ・異年齢交流や委員会・クラブ活動・学校行事などで、子供の創意工夫を生かし創り上げる喜びをもたせ、自己肯定感・自己有用感の育成。
- ・考え、議論する「特別の教科 道徳」の授業を要とした道徳教育の一層の充実。
- ・情報モラル教育の充実。
- ・子供が安心して相談できる教育相談の充実、いじめの未然防止、早期発見・対応・解決。
- ・どの子にも居場所のある学級づくり、学校づくり。相談できる大人を3人以上。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的・計画的な特別支援教育の一層の充実
- ・ユニバーサルデザインに基づき、どの子にも学習に参加しやすい環境づくり。
- ・地域人材や自然、伝統文化や文化財活用により、わがまち昭島への理解と学校への愛着を図る学習活動の展開。

【かしこく】 よく考え、創意工夫する子

- ・分かった、できた喜びのある授業の実践。
- ・主体的に考え、話し合い、表現する授業。各教科等の授業における問題解決的な学習や探究学習の一層の充実。
- ・一人1台端末のより一層の有効活用とICT機器を効果的に活用したデジタル社会を生きる力と直接対話を通したコミュニケーション力の育成。
- ・「拝三スタンダード（学習）」による授業規律の定着。
- ・基礎的な知識・技能の習得とのバランスを取りながら、すすんで学び考え、あきらめずに問題に取り組む態度を養う。



- ・一人一人の状況を把握した「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践。
- ・朝読書や図書館などを活用し、日常的に読書ができるよう子供の実態に応じた読書指導を行う。
- ・学期に1回、校内俳句大会を実施し、子供の語彙力を高め、表現力や感性を養う。
- ・授業終わりの5分間で個々の学びの振り返りの徹底と充実を図り、何を学んだか、何ができるようになったかを確認し、学習の定着を図るとともに、教える側の振り返りにも生かす(週の指導計画への記録)。
- ・意図的・計画的に授業の中で自分の考えをまとめ、発表したり・聞いたり・意見を交流したりする活動を取り入れ、良い話し手・聴き手の育成。

【つよく】粘り強く 元気な子

- ・「元気アップガイドブック」を活用した日常的な遊びや体育授業の改善、体力向上に向けた意図的・計画的な取組をする。
- ・保護者と連携を図りながら「グッドモーニング 60分」の取組を行い、基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・体育的行事等の充実、1日1回は休み時間に外に出て遊んだりしながら体を動かす習慣を身に付ける。
- ・給食指導、「お弁当の日」などを通して、「もったいない」という意識や食に関する指導の充実。
- ・様々な危険に対する安全指導を計画的に行い、子供一人一人が自分の身は自分で守ることができる態度の育成。
- ・子供たちを認め、励まししながら、困難にも折れることのない「しなやかな強さ」を養う。

【チーム拝三】教職員の集団づくり

○子供にとっての最大の教育環境は教師自身

- ① 校長の経営方針に基づき、全教職員による経営参画意識と校務支援ソフトの活用や組織として効率化を図り、主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭・養護教諭の職層に応じた役割を果たすとともに教育効果を発揮できるよう努める。
- ② 教師としてのプライド
 - ・指導力、学級・専科経営力を向上させるために、学年組織、分掌組織、校内研究・研修を工夫したOJTに努める。
 - ・第3学年生以上は、副担任制として学年の経営力の強化を図る。また、学年体制での指導・助言・相談と管理職への報告・連絡・相談の徹底。
 - ・アドバイザー事業を活用した教員の主体的な授業変革の推進。
 - ・教職員研修センターなどの研修を受け自己の研究・修養に努め、職層、職歴に応じた指導力を身に付ける。研修した内容について校内に還元し、教えることが楽しくなる授業改善と教材や指導方法の共有化を図り、学校全体の教育力を伸ばす。
- ③ インクルーシブ教育を推進するために、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の機能を充実し、たんぼぼ教室やスクールカウンセラーとの連携を密に情報交換を図りながら、たんぼぼ教室での指導を在籍学級でも継続したりしながら組織的・計画的な支援を行う。
- ④ 全教職員体制で共通した指導が行えるよう、報告・連絡・相談・記録体制を充実するとともに、保護者・地域と迅速に対応できるように努める。
- ⑤ 教員、事務員、用務員、支援員、給食配置員、学校管理員全ての職員が良好なコミュニケーションを図るためにも「オアシス」を実践する。
- ⑥ 自らの健康管理、自己改革に努める
 - ・心身の健康は充実した教育活動の基盤であるため、メリハリのある仕事、規則正しい生活に心掛ける。
 - ・温かい言葉、温かい視線、さりげない心遣いなど、居心地の良い環境を共有する。
 - ・仕事と生活の調和の実現を目指し、意識改革と校務改善を図り、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などの確保に努める。
- ⑦ 教員の働き方改革の推進。

「三(サン)小の子は、太陽(サン)の子」

太陽は、どんな嵐でも昇っていく力強さがある。

どんなに真っ暗闇でも一瞬で明るくする明るさがある。

分け隔てなく全てのものに温かさを与えてくれる。

そんな三小の子供たちを育てていきましょう。